

# 高崎健康福祉大学大学院農学研究科

## 学生の確保の見通し等を記載した書類

### (資料)

#### 目次

1. 資料1 高崎健康福祉大学農学部地域連携等の状況
2. 資料2 地元自治体、農業界および関連産業界からの要請状況
3. 資料3 在学生アンケートの質問票およびパンフレット
4. 資料4 群馬県農政部へのアンケート質問票およびパンフレット
5. 資料5 アンケート結果の概要
6. 資料6 入学希望書
7. 資料7 本学既設大学院および農学研究科（予定）の学生納付金
8. 資料8 他大学大学院および本学農学研究科（予定）の初年度納付金の比較
9. 資料9 セミナー・講演会等のポスターおよびパンフレット
10. 資料10 大学院修了者の就業動向

## 群馬県における農業振興及び6次産業化推進に係る連携協定

群馬県（以下「甲」という。）と高崎健康福祉大学（以下「乙」という。）は、相互の取組を強化するため、次のとおり協定（以下「本協定」という。）を締結する。

### （目的）

第1条 本協定は、農業振興及び6次産業化推進に係る技術の発展、技術的課題の解決とそれに基づいた地域貢献を図ることを目的とする。なお、6次産業化とは、一次産業としての農林水産業と、二次産業としての製造業、三次産業としての小売業等の事業の総合的かつ一体的な推進を図り、地域資源を活用した新たな付加価値を生み出す取組をいう。

### （連携事項）

第2条 甲及び乙は、前条の目的を達成するため、相互に情報及び意見の交換に努めるとともに、次の各号に掲げる事項について、連携して取組を進めるものとする。

- （1）農業振興及び6次産業化推進の技術的な課題解決のための研究・開発に関すること。
- （2）研究成果を活用した農業振興及び6次産業化推進に関すること。
- （3）農業振興及び6次産業化推進を担う人材育成に関すること。
- （4）研究施設の相互利用に関すること。
- （5）その他、本協定目的遂行上必要なこと。

2 甲及び乙は、連携して取り組んだ第1項各号に掲げる事項について、計画、役割分担、成果の取扱い、今後の推進方法等に関し、定期的に協議を行うものとする。

### （経費分担）

第3条 前条の場合における甲及び乙それぞれに生じた経費については、原則として、各自が負担するものとする。ただし、甲及び乙の協議により別に定めがある場合は、この限りではない。

### （協定の見直し）

第4条 甲及び乙は、本協定の内容を変更する必要があると認める場合は、その都度協議するものとする。

(守秘義務)

第5条 甲及び乙は、本協定に関連して知り得た相手方の秘密情報について、本協定の有効期間中及び有効期間終了後を問わず、第三者に開示し、又は漏洩してはならない。ただし、事前に相手方の承諾を得た場合は、この限りでない。なお、秘密情報とは、文書で秘密と明記したもの、又は口頭で秘密であることを伝えたものについては追って秘密であることを文書で明記したものとする。

(有効期間)

第6条 本協定の有効期間は、協定締結の日から令和2年3月31日までとする。ただし、有効期間満了の1ヶ月前までに、甲又は乙のいずれからも解約の申し出がない場合は、当該期間満了の日の翌日から起算して1年間、本協定を更新するものとし、以後もまた同様とする。

2 本協定を解除する場合は、甲又は乙のいずれか一方が解除予定日の1か月前までに書面により相手方に通知することにより、本協定を解除することができるものとする。

(その他)

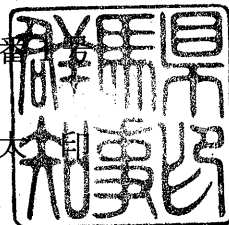
第7条 本協定の定めのない事項又は本協定に定める事項に関し疑義が生じた場合は、甲及び乙が協議して定めるものとする。

本協定締結の証として本協定書2通を作成し、甲乙署名捺印の上、各々1通を保有するものとする。

令和元年9月2日

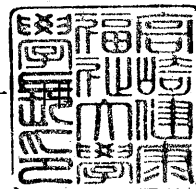
甲 群馬県前橋市大手町一丁目1番  
群馬県

知事 山本 一夫



乙 群馬県高崎市中大類町37-1  
高崎健康福祉大学

学長 須藤 賢一



# 高崎健康福祉大学と J A グループ群馬との 相互連携協力の推進に係る協定書

高崎健康福祉大学（以下、甲という）と J A グループ群馬（以下、乙という）は、相互の連携・協力することに合意し、次のとおり相互連携協力の推進に係る協定書（以下「本協定」という）を締結する。

## （定義）

第 1 条 本協定において、乙とは単位農業協同組合を構成する組合員、単位農業協同組合、農業協同組合中央会、農業協同組合連合会をいう。

## （目的）

第 2 条 本協定は、農業振興及び地域社会の活性化と地域社会で活躍できる次世代型人材の育成を基本活動テーマとして、甲と乙が相互に協力可能な農業、地域社会等の分野における連携を深めることを目的とする。

## （連携・協力事項）

第 3 条 本協定は前条の目的を達成するため、次の事項について連携・協力をする。

- ①群馬県の農業振興及び地域の活性化に関すること
- ②自然と人間社会の共生に向けた自然環境保全に関すること
- ③教育及び次世代型人材育成に関すること
- ④その他、本協定の目的を達成するために必要と認めて合意した事項に関すること

2 前項に規定する事項の具体的な内容については、甲と乙が協議したうえ定めるものとする。

## （協議）

第 4 条 本協定の円滑な運用を図るため、毎年度定期的な協議を行うものとする。

2 甲と乙の連携担当部署〔事務局〕は、日常より情報の交換、連携を行うものとする。

## （経費）

第 5 条 甲と乙が連携・協力して行う事業に関する経費については、甲と乙が協議のうえ定めるものとする。

## （協定の見直し）

第 6 条 本協定の見直しは、甲又は乙のどちらかから、協定内容の見直しの申し出があった場合、甲と乙の協議の上、協定の見直しを行うものとする。

## （協定の解釈）

第 7 条 本協定の解釈に疑義が発生した場合又は本協定に定めのない事項が発生した場合は、甲と乙が協議して決定することとする。

## （反社会的勢力の排除）

第 8 条 連携・協力事項の実施にあたっては、反社会的勢力の排除及びコンプライアンスの遵守のほか、社会的責任を果たすための体制を整え、これを相互に尊重し行動する。

(秘密保持)

第9条 甲と乙は、連携・協力事項の実施にあたっては、守秘義務のある資料及び個人情報等については慎重に扱うものとする。

(有効期間)

第10条 本協定の有効期間は、協定締結日から1年間とする。

2 期間満了の日から30日前までに甲又は乙から協定を終了させる意思表示がない場合は、期間満了の翌日から1年間の自動更新とし、以後同様とする。

(署名)

第11条 本協定の証として、本書を2通作成し、甲と乙がそれぞれ署名する。なお、本協定書の署名における乙については、代表として群馬県農業協同組合中央会の代表理事会長がこれを行うものとする。

令和2年6月25日

甲 群馬県高崎市中大類町37の1番地  
高崎健康福祉大学  
学長

須藤 賢一

乙 群馬県前橋市亀里町1310番地  
群馬県農業協同組合中央会  
代表理事会長

大澤 憲一

農 第 30072-89 号

令和 3 年 2 月 4 日

学校法人高崎健康福祉大学

理事長 須藤 賢一 様

群馬県知事 山本 一太  
(農 政 課)高崎健康福祉大学大学院農学研究科生物生産学専攻  
博士前期課程・後期課程の設置に関する意見書

本県は大消費地である東京から 100km 圏の好立地や、恵まれた年間日照時間などにより、キャベツ、キュウリ、ナス等の野菜生産では全国上位を占めている。また、生産量が全国 1 位のコンニャク、全国 2 位のウメなどの産地であるとともに、果樹やイチゴなどでは観光直売も盛んである。一方で、全国的に農業従事者の高齢化と担い手不足が深刻な問題となっている中、意欲的な新規就農者の確保と労働力不足の解消に向けて、県では、先端技術を活用したスマート農業の技術開発や現地実証に取り組んでいる。また、本県の地域資源を活用した 6 次産業化や果樹等のオリジナル品種の開発・普及など、地域の強みを生かした農業を推進している。

このような中、貴大学は、令和元年度に県内初の農学部を開学し、最新の知見に基づく教育と地域に根ざした研究に取り組んでいる。令和元年 9 月には、本県と貴大学との間で「群馬県における農業振興及び 6 次産業化推進に係る連携協定」を締結し、農業振興及び 6 次産業化の推進に必要な研究と技術開発、それらを担う人材の育成について連携した取り組みを進めることとしている。さらに今後、大学院農学研究科を設置することで、高度な専門知識を習得した人材が育成され、スマート農業など高度な研究分野の技術開発や地域資源を生かした食品開発などで県との連携が一層進み、本県の農業振興や 6 次産業化の推進に大きく寄与することが期待される。

令和2年10月1日

学校法人高崎健康福祉大学  
理事長 須藤賢一 殿

群馬県農業協同組合中央会

代表理事会長 唐澤 透



### 高崎健康福祉大学大学院農学研究科博士（前期・後期）課程設置に関する要望書

群馬県は大消費地である東京から100km圏の好立地や、全国第2位の恵まれた年間日照時間などにより、キャベツ、きゅうり、レタス、ほうれんそう等の野菜生産では全国上位を占めている。一方、全国的な産地間競争の激化の時代にあつて、本県産農産物のブランド力強化による高付加価値化が強く望まれており、そのための研究・開発、およびその成果を実践できる人材の育成が急務である。また、農業産出額の4割を畜産が占めるとともに、生産量全国第1位のこんにゃく、同第4位の小麦などの主産地でもある。しかし、農業従事者の高齢化と後継者不足は本県においても例外ではなく、意欲的な新規就農者の確保とともに、その意欲に応えるよう最新の知見・技術に根ざす新たな農業のあり方を提示することが強く望まれている。加えて、国連が主導する国際社会共通の目標である

「SDGs（持続可能な開発目標）」の時代にあつて、自然と人間社会の共生に向けた自然環境保全に基づく農業を基盤とした地域社会の発展と、それを支える技術・学術の振興ならびに人材育成が求められている。

このような認識に鑑み、群馬県農業協同組合中央会と高崎健康福祉大学は令和2年6月に、農業振興及び地域社会の活性化と地域社会で活躍できる次世代型人材の育成を基本活動テーマとして、相互に協力可能な農業、地域社会等の分野における連携を深めるための「高崎健康福祉大学とJAグループ群馬との相互連携協力の推進に係る協定書」を締結したところである。

高崎健康福祉大学は令和元年度に国公私立大学を通じて群馬県内初の農学部を設置し、上記をはじめとする県内農業の諸課題の解決や、一層の農業振興のための教育ならびに研究・開発に取り組んでいる。今後さらに大学院農学研究科を設置することは、上記協定書の精神をより具現化することにつながる。特に博士後期課程の設置は、群馬県の農業振興と地域活性化に、理論と実証研究を活かした即戦力となる次世代型人材育成のために必要であると関係者も切望するところである。

令和2年12月23日

学校法人高崎健康福祉大学  
理事長 須藤 賢一 殿

群馬県食品工業協会  
会長 市川 豊行



農学分野における食品関連産業者教育における大学院（博士前期課程・博士後期課程）の設置について（要望）

群馬県内にこれまで農学系の学部を擁した大学がなかったところですが、平成31年4月に高崎健康福祉大学に農学部が設置され、県内農業分野、食品製造業分野では貴学の発展を大いに期待しているところであります。

群馬県内では、こんにゃく芋をはじめとし、小麦、ネギ、キャベツ、キュウリ、大根、ナスなど数々の農産物を産出しており、農業産出額では全国上位にランク付けされています。またこれら収穫物を加工する食品製造業（こんにゃく加工業、製麺業、惣菜などの農産品加工業、および清酒醸造業）など、食にかかわる地場産業も多数存在しております。さらに当地は首都圏に近いこともあり、加工食品生産量も増える傾向にあります。

このような群馬県内では、貴学農学部に対し大きく期待し歓迎をしております。そんな中、貴学農学部を基盤とした大学院設置が予定されていると聞き及びました。大学院においては、地場産業との連携ばかりでなく、将来を見据えた発展的な研究も協力して進めることが可能となり、さらに地域連携を密にさせていただくことにより、地場の農業分野をはじめとし、食品製造業にも大きな味方を得ることになり、大学院の設置は大いに期待しているところであります。

今後、最新の研究の推進、さらに高度の技術習得や技術者教育にも期待しているところであり、大学院の設置を切に希望するところであります。

以上



# 高崎健康福祉大学大学院農学研究科に関するアンケート

高崎健康福祉大学では、2022（令和4）年4月に、大学院農学研究科「生物生産学専攻」（博士前期（修士）課程および博士後期課程）を開設すべく準備を進めています。この研究科では、既存の農学部生物生産学科の理念を拡充し、食と農に関わる諸課題を多様な観点から捉え、専門分野の方法論のみならず、学際的なアプローチも駆使してグローバルな視点から取り組むことができる人材の養成をめざします。

高崎健康福祉大学大学院農学研究科の開設について、皆様のご意見を伺いたく、アンケートを実施いたします。

以下のアンケートに回答をよろしくお願いいたします。

**\*必須**

1. 1. あなたの所属学部・学科を教えてください \*

1つだけマークしてください。

- 農学部 生物生産学科
- 健康福祉学部 社会福祉学科
- 健康福祉学部 医療情報学科
- 健康福祉学部 健康栄養学科
- 薬学部 薬学科

2. 2. あなたの学年等を教えてください。 \*

1つだけマークしてください。

- 学部 1年生
- 学部 2年生
- 学部 3年生
- 学部 4年生
- 学部 5年生（薬学部のみ）
- 学部 6年生（薬学部のみ）

3. 3. 現在、本学で計画中の大学院農学研究科（博士前期（修士）課程・博士後期課程）について、興味がありますか。\*

1つだけマークしてください。

- 大変興味がある
- 興味がある
- どちらとも言えない
- 興味がない

4. 4. 大学院農学研究科【博士前期（修士）課程】への進学を希望されますか。\*

1つだけマークしてください。

- ぜひ進学したい 質問 5 にスキップします
- 条件が合えば進学したい 質問 5 にスキップします
- どちらとも言えない 質問 6 にスキップします
- 進学したいとは思わない 質問 6 にスキップします

#### 進学希望者への追加 質問

【4の質問に対して、「ぜひ進学したい」または「条件が合えば進学したい」を選択された方のみ】

5. 5. 大学院農学研究科の博士前期（修士）課程への進学を希望される動機を教えてください。（複数選択可）\*

当てはまるものをすべて選択してください。

- 食と農に関してより深く、より高度な研究活動を行いたい。
- 高度専門職業人として社会で活躍するためのより高度な知識・技術や高度で総合的な判断力を身に着けたい。
- 将来、研究者・技術者として働きたい。
- 学位（修士）を取得したい。

その他:  \_\_\_\_\_

質問 6 にスキップします

#### 博士後期課程への進学について

6. 6. 大学院農学研究科【博士後期課程】への進学を希望されますか。\*

1つだけマークしてください。

- ぜひ進学したい 質問7にスキップします
- 条件が合えば進学したい 質問7にスキップします
- どちらとも言えない 質問8にスキップします
- 進学したいとは思わない 質問8にスキップします

進学希望者への追加  
質問

【6の質問に対して、「ぜひ進学したい」または「条件が合えば進学したい」を選択された方のみ】

7. 7. 大学院農学研究科の博士後期課程への進学を希望される動機を教えてください。（複数選択可）\*

当てはまるものをすべて選択してください。

- 食と農に関してより深く、より高度な研究活動を行いたい。
- 高度専門職業人として社会で活躍するためのより高度な知識・技術や高度で総合的な判断力を身に着けたい。
- 将来、研究者・技術者として働きたい。
- 学位（博士）を取得したい。

その他:  \_\_\_\_\_

質問8にスキップします

意見・要望・提言等

8. 8. 新しく設置する大学院農学研究科に対して、その他、ご意見、ご要望、ご提言等がございましたらご自由にご記入ください。\*

---

---

---

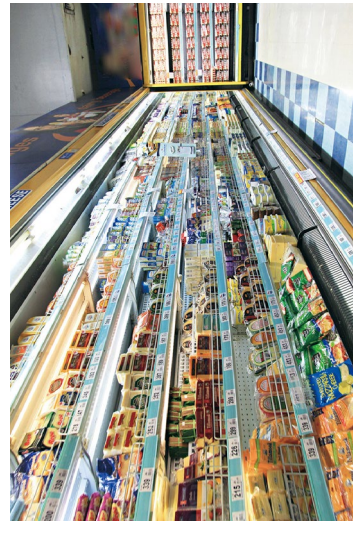
---

---

# 高崎健康福祉 大学大学院 農学研究科 (計画案)

高崎健康福祉大学では、大学院農学研究科を令和4（2022）年4月開設を目標として準備しております。

本学の学生に向けて現在の計画についてお知らせいたします。この内容はあくまでも令和2（2020）年の段階であり、認可申請に伴い内容が変更となる場合もあります。



## 高崎健康福祉大 学大学院 農学 研究科を設置予 定です。

群馬県の農業従事者育成、地域の活性化について既に認可されている農学部だけでなく、大学院を設置することでより高度な研究、専門的な授業を行うことができます。

本学では群馬県、JAグループ群馬といった群馬県内の農業関係団体と協定を締結しており、大学院設置については関係団体からの要望も多く、実現に向けて申請準備しております。

高崎健康福祉大学学生の皆様にとっても魅力ある大学院を目指しておりますので、アンケートにご協力ください。





## 高崎健康福祉大学大学院農学研究科(仮称)の設置に関するアンケート

高崎健康福祉大学では大学院農学研究科博士前期(修士)課程および同博士後期課程(いずれも仮称)の設置を計画し、令和4(2022)年4月の開設を目指して準備を進めております。群馬県様と本学とが令和元年9月に締結した「農業振興及び6次産業化推進に係る連携協定」においては、人材育成における連携が謳われているところであり、設置予定の本学大学院ではその一環として社会人を積極的に受け入れる所存です。この際、授業科目の開講時期や形態について柔軟に対応し、社会人大学院生の学修に配慮したいと考えております。また、職場経験を積んだ社会人の大学院生と身近に接することは、本学学部生や大学院生にとっても自らの研究や将来設計に対する大きな刺激となり、官・学のシナジー効果が期待できると考えております。一方、大学院設置のための文部科学省への設置認可申請においては、学生確保の見通しについて詳細な説明を求められることから、学部学生や関連する業界関係者など大学院入学の可能性のある方々に対するアンケート調査を行うことが一般的です。学部学生につきましては、本学在学学生を対象としたアンケートをすでに実施しております。そこで、群馬県様につきましても皆様の大学院進学に関するお考えをお聞かせいただきたく、本アンケート調査を企画いたしました。皆様ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、なにとぞ協力賜りますようお願い申し上げます。

なお、本アンケートで得られた情報は大学院設置認可申請の目的のみで使用します。

### 用語の説明

#### 大学院博士前期(修士)課程

いわゆる修士課程のことで、原則として学部卒業者(学士)が入学し、通常2年間の修業で修士の学位を得ることができます。この段階で大学院を終えることも、さらに博士後期課程(以下に説明)に進むこともできます。

#### 大学院博士後期課程

いわゆる博士課程のことで、原則として修士の学位を有する者が入学します。通常3年間の修業と学位論文審査により博士の学位を得ることができます。

(アンケート調査用紙 1/2)

1. あなたの現在の職種は以下のいずれですか。

- 1) 行政
- 2) 普及
- 3) 研究
- 4) その他 ( )

2. 現在、本学で計画中の大学院農学研究科（博士前期（修士）課程・博士後期課程）について、興味がありますか。

- 1) 大変興味がある
- 2) 興味がある
- 3) どちらとも言えない
- 4) 興味がない

3. 大学院農学研究科【博士前期（修士）課程】への進学を希望されますか。

- 1) ぜひ進学したい
- 2) 条件が合えば進学したい
- 3) どちらとも言えない
- 4) 進学したいとは思わない

3. 大学院農学研究科【博士後期課程】への進学を希望されますか。

- 1) ぜひ進学したい
- 2) 条件が合えば進学したい
- 3) どちらとも言えない
- 4) 進学したいとは思わない

4. 【2または3の質問に対して、「ぜひ進学したい」または「条件が合えば進学したい」を選択された方のみ】

大学院農学研究科の修士課程または博士後期課程への進学を希望される動機を教えてください。（複数選択可）

- 1) 食と農に関してより深く、より高度な研究活動を行いたい。
- 2) 高度専門職業人としてのより高度な知識・技術や高度で総合的な判断力を身につけたい。
- 3) 学位（修士または博士）を取得したい。
- 4) その他 ( )

(アンケート調査用紙 2/2)

5. 新しく設置する大学院農学研究科に対して、その他、ご意見、ご要望、ご提言等がございましたらご自由にご記入ください。



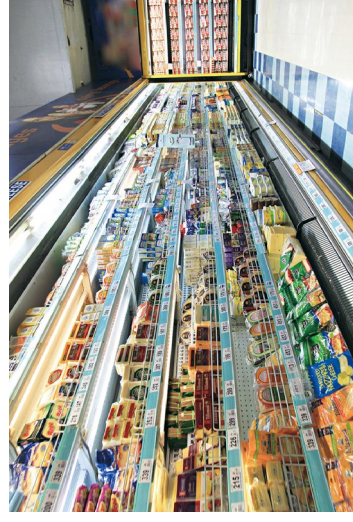
アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。



# 高崎健康福祉 大学大学院 農学研究科 (計画案)

高崎健康福祉大学では、大学院農学研究科を令和4（2022）年4月開設を目標として準備しております。

本学の学生に向けて現在の計画についてお知らせいたします。この内容はあくまでも令和2（2020）年の段階であり、認可申請に伴い内容が変更となる場合もあります。



## 高崎健康福祉大 学大学院 農学 研究科を設置予 定です。

群馬県の農業従事者育成、地域の活性化について既に認可されている農学部だけでなく、大学院を設置することでより高度な研究、専門的な授業を行うことができます。

本学では群馬県、JAグループ群馬といった群馬県内の農業関係団体と協定を締結しており、大学院設置については関係団体からの要望も多く、実現に向けて申請準備しております。

高崎健康福祉大学学生の皆様にとっても魅力ある大学院を目指しておりますので、アンケートにご協力ください。



## 在学学生アンケート集計結果

表1: 回答者の所属学科・学年別内訳

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	現員	回答率 (%)
健康福祉学部 医療情報学科	20	24	15	6			65	326	19.9
健康福祉学部 社会福祉学科	23	20	18	8			69	285	24.2
健康福祉学部 健康栄養学科	29	21	27	14			91	328	27.7
薬学部 薬学科	33	16	24	14	11	18	116	581	20.0
農学部 生物生産学科	90	81	0	0			171	195	87.7
計	195	162	84	42	11	18	512	1715	31.1

表2: 大学院農学研究科への興味について

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
大変興味がある	11	8	1	3	1	1	25
興味がある	47	30	7	8	1	1	94
どちらとも言えない	76	65	22	12	2	3	180
興味がない	61	59	54	19	7	13	213

表3: 大学院博士前期課程への進学意思について

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
博士前期課程への進学							
ぜひ進学したい	2	0	0	0			2
条件が合えば進学したい	29	23	1	4			57
どちらとも言えない	57	38	8	4			107
進学したいとは思わない	74	85	51	20			230

注) 薬学部薬学科所属学生の回答は集計から除外した

表4: 博士前期課程に進学を希望する動機について

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
食と農に関してより深く、より高度な研究活動を行いたい	17	14	1	4			36
高度専門職業人として社会で活躍するためのより高度な知識・技術や高度で総合的な判断力を身に着けたい	16	14	0	1			31
将来、研究者・技術者として働きたい	18	8	0	0			26
学位(修士)を取得したい	12	13	0	2			27

注) 薬学部薬学科所属学生の回答は集計から除外した

表5: 大学院博士後期課程への進学意思について

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
ぜひ進学したい	1	0	0	0	0	0	1
条件が合えば進学したい	20	13	1	5	0	0	39
どちらとも言えない	73	45	10	5	3	2	138
進学したいとは思わない	101	104	73	32	8	16	334

表6: 博士後期課程に進学を希望する動機について

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
食と農に関してより深く、より高度な研究活動を行いたい	11	8	0	5			24
高度専門職業人として社会で活躍するためのより高度な知識・技術や高度で総合的な判断力を身に着けたい	10	9	1	2			22
将来、研究者・技術者として働きたい	10	5	0	1			16
学位(博士)を取得したい	9	10	0	2			21

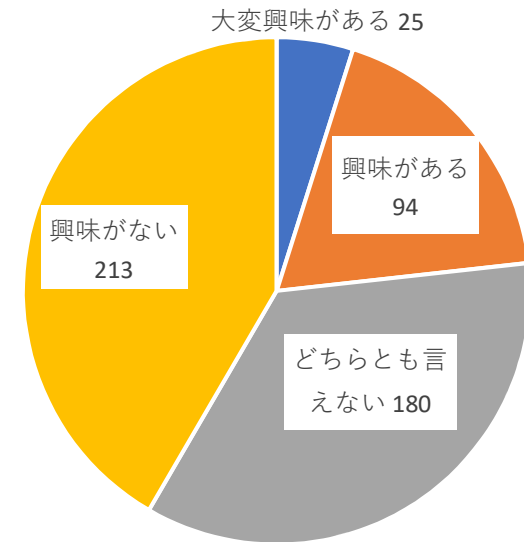
# 本学在学生へのアンケート調査結果(概要)

所属学科・学年別回答者数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	現員	回答率 (%)
健康福祉学部医療情報学科	20	24	15	6			65	326	19.9
健康福祉学部社会福祉学科	23	20	18	8			69	285	24.2
健康福祉学部 健康栄養学科	29	21	27	14			91	328	27.7
薬学部 薬学科	33	16	24	14	11	18	116	581	20.0
農学部 生物生産学科	90	81	0	0			171	195	87.7
計	195	162	84	42	11	18	512	1715	31.1

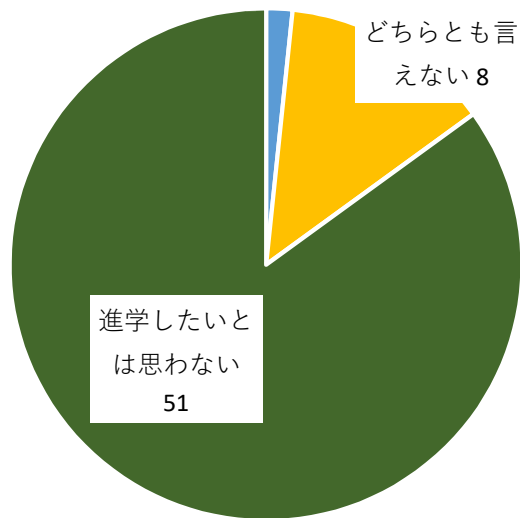
※アンケートは令和2年10月5日～23日にかけてweb調査で実施した

大学院農学研究科に対する興味

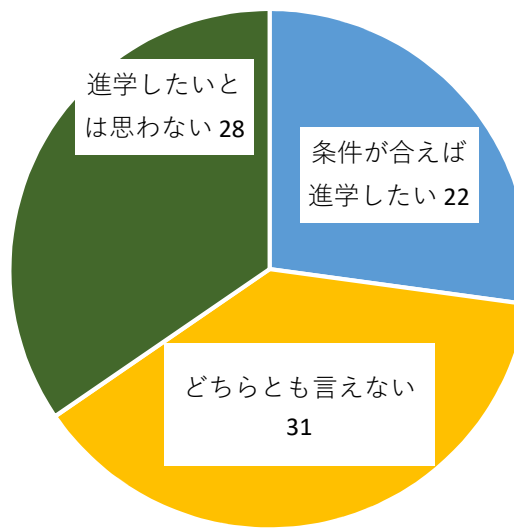


博士前期課程への進学意思 (学部3年生)

条件が合えば進学したい1

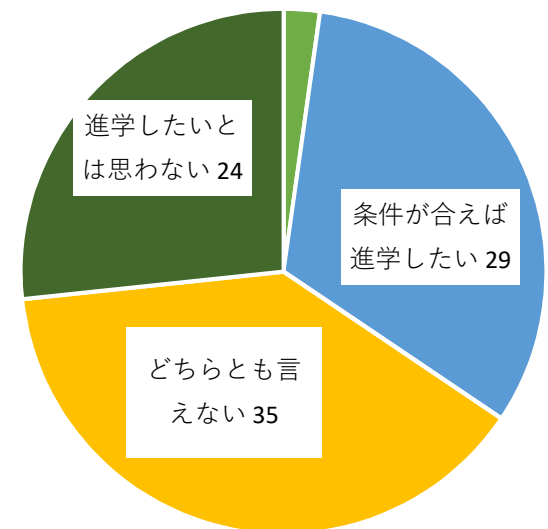


博士前期課程への進学意思 (農学部2年生)



博士前期課程への進学意思 (農学部1年生)

ぜひ進学したい2



注)薬学部学生の回答を除いて集計した

## 群馬県農政部へのアンケート集計結果

表1:回答者の職種別内訳

行政	7
普及	10
研究	76
その他	4
計	97

表2:大学院農学研究科への興味について

大変興味がある	6
興味がある	41
どちらとも言えない	25
興味がない	25

表3:大学院博士前期課程への進学意思について

ぜひ進学したい	0
条件が合えば進学したい	5
どちらとも言えない	25
進学したいとは思わない	66

表4:大学院博士後期課程への進学意思について

ぜひ進学したい	0
条件が合えば進学したい	11
どちらとも言えない	26
進学したいとは思わない	60

表5:博士後期課程に進学を希望する動機について

食と農に関してより深く、より高度な研究活動を行いたい	1
高度専門職業人として社会で活躍するためのより高度な知識・技術や高度で総合的な判断力を身に着けたい	6
将来、研究者・技術者として働きたい	3
学位(博士)を取得したい	3

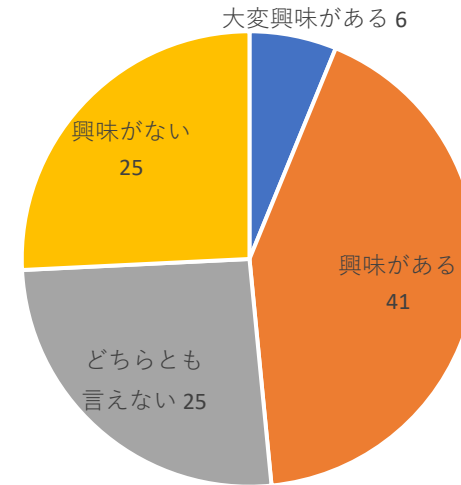
## 群馬県農政部職員へのアンケート調査結果(概要)

職種別の回答者数

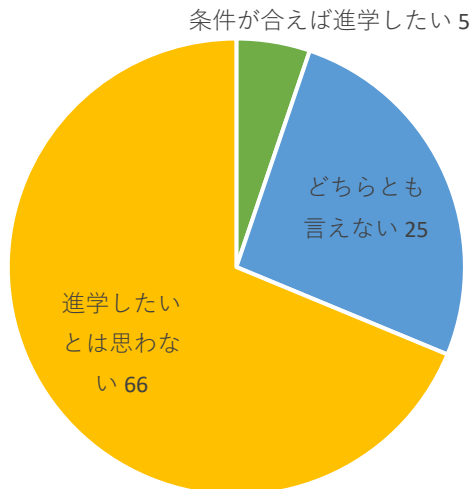
職種	回答者数
行政	7
普及	10
研究	76
その他	4
計	97

※アンケートは令和2年10月27日～11月25日にかけて実施した

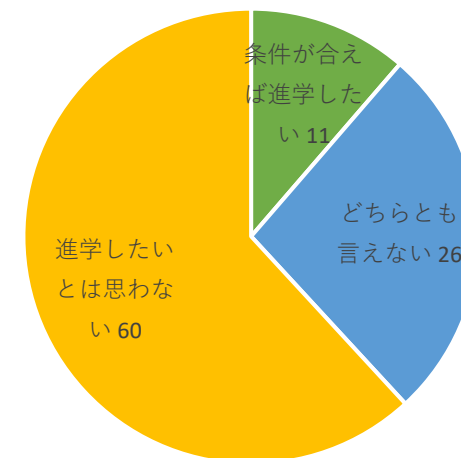
大学院農学研究科に対する興味



博士前期課程への進学意思



博士後期課程への進学意思



## 入学希望書

高崎健康福祉大学 学長 殿

私は、高崎健康福祉大学大学院 農学研究科 生物生産学専攻が開設され、学生募集を開始することになりましたら、出願を希望いたします。

氏 名	萩野 恭子
所 属	高崎健康福祉大学高崎 高等学校
保有学位 (どちらかを○)	<input checked="" type="radio"/> 学士      修士
受験希望課程 (どちらかを○)	<input checked="" type="radio"/> 博士前期課程 (M)      博士後期課程 (D)
希望理由	現在高等学校の教諭としております。 新しい学習指導要領により、 総探を考えた。自分の知識、技術を 増やしたいと考えています。

# 入学希望書

高崎健康福祉大学 学長 殿

私は、高崎健康福祉大学大学院 農学研究科 生物生産学専攻が開設され、学生募集を開始することになりましたら、出願を希望いたします。

氏 名	加藤 まどか
所 属	研究補助員
保有学位 (どちらかを○)	<input checked="" type="radio"/> 学士      修士
受験希望課程 (どちらかを○)	博士前期課程 (M)      博士後期課程 (D)
希望理由	貴大学の植物生命科学研究室 でお手伝いをさせていただくうちに、 研究に興味を持つようになりました。



# 入学希望書

高崎健康福祉大学 学長 殿

私は、高崎健康福祉大学大学院 農学研究科 生物生産学専攻が開設され、学生募集を開始することになりましたら、出願を希望いたします。

氏 名	柏倉 真衣
所 属	健康 栄養学科
保有学位 (どちらかを○)	<input checked="" type="radio"/> 学士      .      修士
受験希望課程 (どちらかを○)	<input checked="" type="radio"/> 博士前期課程 (M)      .      博士後期課程 (D)
希望理由	研究を通じて専門知識を身につけたいため。

# 入学希望書

高崎健康福祉大学 学長 殿

私は、高崎健康福祉大学大学院 農学研究科 生物生産学専攻が開設され、学生募集を開始することになりましたら、出願を希望いたします。

氏名	河合 菜摘
所属	高崎健康福祉大学高崎高等学校
保有学位 (どちらかを○)	<input checked="" type="radio"/> 学士 ・ 修士
受験希望課程 (どちらかを○)	<input checked="" type="radio"/> 博士前期課程 (M) ・ 博士後期課程 (D)
希望理由	一度社会に出て働く中、 さらに生命科学についてより深い知識 を身につけたいと思っております。

# 入学希望書

高崎健康福祉大学 学長 殿

私は、高崎健康福祉大学大学院 農学研究科 生物生産学専攻が開設され、学生募集を開始することになりましたら、出願を希望いたします。

氏名	北野 皓大
所属	群馬県林業試験場
保有学位 (どちらかを○)	<input checked="" type="radio"/> 学士      修士
受験希望課程 (どちらかを○)	<input checked="" type="radio"/> 博士前期課程 (M)      博士後期課程 (D)
希望理由	・業務で行っているカシナガの調査をリモートセンシング等を使って調べる方法を学びたいから。

# 入学希望書

高崎健康福祉大学 学長 殿

私は、高崎健康福祉大学大学院 農学研究科 生物生産学専攻が開設され、学生募集を開始することになりましたら、出願を希望いたします。

氏名	小林 勇一
所属	2018年3月高崎健康福祉大学卒業
保有学位 (どちらかを○)	<input checked="" type="radio"/> 学士      .      修士
受験希望課程 (どちらかを○)	<input checked="" type="radio"/> 博士前期課程 (M)      .      博士後期課程 (D)
希望理由	食品の機能性成分について研究のため。

# 入学希望書

高崎健康福祉大学 学長 殿

私は、高崎健康福祉大学大学院 農学研究科 生物生産学専攻が開設され、学生募集を開始することになりましたら、出願を希望いたします。

氏名	佐々木 麻帆
所属	株式会社新道 企画開発本部 第一開発室
保有学位 (どちらかを○)	<input checked="" type="radio"/> 学士      • <input type="radio"/> 修士
受験希望課程 (どちらかを○)	<input checked="" type="radio"/> 博士前期課程 (M)      • <input type="radio"/> 博士後期課程 (D)
希望理由	基礎生命科学研究室の外山教授のもと、当社で開発した「とろろ芋」の品質管理に必要なレオロジー特性の測定を月1回程度の割合で行っている。現在、得られたデータをもとにテクスチャーの改善を模索している。今後、新製品の開発に向けてさらに詳しい実験・解析を行うために大学院への進学を希望する。

# 入学希望書

高崎健康福祉大学 学長 殿

私は、高崎健康福祉大学大学院 農学研究科 生物生産学専攻が開設され、学生募集を開始することになりましたら、出願を希望いたします。

氏名	清水 朱里
所属	群馬県立安中総合学園高等学校
保有学位 (どちらかを○)	<input checked="" type="radio"/> 学士      ·      修士
受験希望課程 (どちらかを○)	<input checked="" type="radio"/> 博士前期課程 (M)      ·      博士後期課程 (D)
希望理由	<p>現在農業高校に勤務し、食品加工や微生物、食品化学に関する学習を担当している。しかし、農業経済学科出身のため、独学での担当授業の学習や授業準備に限界を感じている。</p> <p>大学院では高校での担当分野について最新の研究内容に触れながら体感して学び直し、実験機器が充実している環境で研究することで教員としての専門性を高めることができている。</p>

# 入学希望書

高崎健康福祉大学 学長 殿

私は、高崎健康福祉大学大学院 農学研究科 生物生産学専攻が開設され、学生募集を開始することになりましたら、出願を希望いたします。

氏 名	城 田 真 弓
所 属	高崎健康福祉大学高崎高校
保有学位 (どちらかを○)	<input checked="" type="radio"/> 学士 <input type="radio"/> 修士
受験希望課程 (どちらかを○)	<input checked="" type="radio"/> 博士前期課程 (M) <input type="radio"/> 博士後期課程 (D)
希望理由	アグリビジネスを学び、地産地消に 貢献する人材を目指したいから。

# 入学希望書

高崎健康福祉大学 学長 殿

私は、高崎健康福祉大学大学院 農学研究科 生物生産学専攻が開設され、学生募集を開始することになりましたら、出願を希望いたします。

氏 名	滝沢 俊介
所 属	群馬県蚕糸技術センター
保有学位 (どちらかを○)	学士 ・ 修士
受験希望課程 (どちらかを○)	博士前期課程 (M) ・ 博士後期課程 (D)
希望理由	現在、群馬県蚕糸技術センターで遺伝子組換えカイコの実用化研究をしており、飼育技術の開発や作出した遺伝子組換えカイコの実用品種化などを行っています。貴大学では遺伝子組換えカイコの研究を実施しており、実際に組換えカイコの作出まで実施しているとお聞きしました。当センターでは作出するための設備がありますが、技術が不足しており、作出が行えていません。また、担当者が2名しかおらず、視野が狭くなりがちになっているため、幅広い議論を行える場が必要であると実感しています。そこで、貴大学の川崎教授と藤本助教から御指導をいただきながら、より高度な研究を行える技術と知識を習得するために進学を希望します。



# 入学希望書

高崎健康福祉大学 学長 殿

私は、高崎健康福祉大学大学院 農学研究科 生物生産学専攻が開設され、学生募集を開始することになりましたら、出願を希望いたします。

氏名	田島 創 (たじま そう)
所属	群馬県立産業技術センター
保有学位 (どちらかを○)	学士 ・ 修士 博士 (工学)
受験希望課程 (どちらかを○)	○博士前期課程 (M) ・ 博士後期課程 (D)
希望理由	<p>私は、群馬産業技術センターでは、バイオ・微生物系の係長を拝命しています。しかし、農学や生物生産学についての知識が不足しています。</p> <p>貴学に生物生産学専攻が開設されましたら、最新の生物生産学を学ぶことができ、また、優れた研究者の方々と研究に従事することでこの分野における深い知識を得られるものと考えます。</p> <p>群馬県の皆様のために貴学で得た知識を活かすため、出願を希望いたします。</p>

# 入学希望書

高崎健康福祉大学 学長 殿

私は、高崎健康福祉大学大学院 農学研究科 生物生産学専攻が開設され、学生募集を開始することになりましたら、出願を希望いたします。

氏名	吉田 茂樹
所属	高崎健康福祉大学高崎高等学校
保有学位 (どちらかを○)	<input checked="" type="radio"/> 学士 <input type="radio"/> 修士
受験希望課程 (どちらかを○)	<input checked="" type="radio"/> 博士前期課程 (M) <input type="radio"/> 博士後期課程 (D)
希望理由	私の実家・地元(高崎市吉井町)では、 農業をやめてしまっている家が多い。 若者に農業に興味を持ってもらいたいので、 今後の農業を支える工学技術を、 学びたいと考えています。

# 入学希望書

高崎健康福祉大学 学長 殿

私は、高崎健康福祉大学大学院 農学研究科 生物生産学専攻が開設され、学生募集を開始することになりましたら、出願を希望いたします。

氏名	荒井 和 純
所属	群馬県庁
保有学位 (どちらかを○)	学士 ・ <input checked="" type="radio"/> 修士
受験希望課程 (どちらかを○)	博士前期課程 (M) ・ <input checked="" type="radio"/> 博士後期課程 (D)
希望理由	リポートゼミ、ドローン等の技術 を、利発行政に活用する為の 大学院への進学を希望する

# 入学希望書

高崎健康福祉大学 学長 殿

私は、高崎健康福祉大学大学院 農学研究科 生物生産学専攻が開設され、学生募集を開始することになりましたら、出願を希望いたします。

氏名	小暮匠
所属	高崎健康福祉大学 高崎高等学校
保有学位 (どちらかを○)	<del>学士</del> . 修士
受験希望課程 (どちらかを○)	博士前期課程 (M) . 博士後期課程 (D)
希望理由	日本ソムリエ協会のワインエキスパートの資格の取得を機に、人の味覚を感覚では無く科学的に研究したいと思うようになったから。

# 入学希望書

高崎健康福祉大学 学長 殿

私は、高崎健康福祉大学大学院 農学研究科 生物生産学専攻が開設され、学生募集を開始することになりましたら、出願を希望いたします。

氏名	小林 慧
所属	群馬県 林業試験場
保有学位 (どちらかを○)	学士 ・ <input checked="" type="radio"/> 修士
受験希望課程 (どちらかを○)	博士前期課程 (M) ・ <input checked="" type="radio"/> 博士後期課程 (D)
希望理由	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 群馬県内で農業の研究が実施できるため。</li><li>・ 学生に対して、丁寧な指導が期待できるため。</li><li>・ 専門的知識を幅広く知ることが出来るため。</li></ul>

# 入学希望書

高崎健康福祉大学 学長 殿

私は、高崎健康福祉大学大学院 農学研究科 生物生産学専攻が開設され、学生募集を開始することになりましたら、出願を希望いたします。

氏名	齊藤 めがほ
所属	群馬県林業試験場
保有学位 (どちらかを○)	学士 ・ <input checked="" type="radio"/> 修士
受験希望課程 (どちらかを○)	博士前期課程 (M) ・ <input checked="" type="radio"/> 博士後期課程 (D)
希望理由	新しい知識を得たいため。

# 入学希望書

高崎健康福祉大学 学長 殿

私は、高崎健康福祉大学大学院 農学研究科 生物生産学専攻が開設され、学生募集を開始することになりましたら、出願を希望いたします。

氏名	清水 匠
所属	群馬県立伊勢崎興陽高等学校
保有学位 (どちらかを○)	学士 ・ 修士
受験希望課程 (どちらかを○)	博士前期課程 (M) ・ 博士後期課程 (D)
希望理由	高校で農業教員として勤務し、教育活動に活かすための栽培研究を行っている。研究活動を行う中で、勤務校の設備では限界を感じており、実験機器、圃場が整備されている大学院での研究を希望している。 しかし、高崎市在住のため現状では県外の大学院しか選択肢がない。 また、栽培作物の研究を行うにあたり、土壌や気候など現在働いている職場に近い環境下で研究を行うことが重要であると考えるため高崎健康福祉大学農学部 に大学院が設置された場合、出願したいと考えている。

# 入学希望書

高崎健康福祉大学 学長 殿

私は、高崎健康福祉大学大学院 農学研究科 生物生産学専攻が開設され、学生募集を開始することになりましたら、出願を希望いたします。

氏名	津久井 啓多
所属	群馬県農政部
保有学位 (どちらかを○)	学士 ・ 修士
受験希望課程 (どちらかを○)	博士前期課程 (M) ・ 博士後期課程 (D)
希望理由	特用作物の遺伝学に関する理解を深めたい。



# 入学希望書

高崎健康福祉大学 学長 殿

私は、高崎健康福祉大学大学院 農学研究科 生物生産学専攻が開設され、学生募集を開始することになりましたら、出願を希望いたします。

氏名	山田 徹郎
所属	群馬県立群馬産業技術センター 食品・健康係
保有学位 (どちらかを○)	学士 ・ 修士
受験希望課程 (どちらかを○)	博士前期課程 (M) ・ 博士後期課程 (D)
希望理由	<p>現在、仕事で「こんにゃく」を扱っていますが、レオロジー的に興味ある素材です。</p> <p>こんにゃくの作り方は、完成された技術で、条件を変化させすぎると製造できません。一方で、条件を少し変化させると物性が大きく変化します。そのため、適正な条件制御を行えば、新しい食感を持つ製品も開発可能だと考えております。</p> <p>長年、公設試で、繊維や食品などのソフトマターを扱い、企業支援、研究を続けてまいりましたが、根本的な原因追及はなかなかできませんでした。</p> <p>様々な素材を取り扱ってきた経験を活かし、大学院で最新知識の学びなおし、食品の物性研究を行いたいと考えております。</p> <p>大学院時代は、レオロジーを専門にしていた研究室にありました。</p>

## 本学既設大学院および農学研究科（予定）の学生納付金

研究科	専攻	入学金	授業料	実験・実習料
健康福祉学	医療福祉情報学	100,000 円	700,000 円	
	保健福祉学	100,000 円	700,000 円	
	食品栄養学	100,000 円	700,000 円	200,000 円
薬学	薬学	100,000 円	700,000 円	200,000 円
保健医療学	看護学 (下記領域以外)	100,000 円	700,000 円	
	看護学 助産学分野 助産師養成領域	100,000 円	700,000 円	200,000 円
	理学療法学	100,000 円	700,000 円	
農学（予定）	生物生産学（予定）	100,000 円	700,000 円	200,000 円

注) 本学大学院修士課程もしくは博士前期課程から博士後期課程への進学者については入学金を徴収しない。

## 他大学大学院および本学農学研究科（予定）の初年度納付金の比較

大学・研究科	専攻	初年度納付金（総額）
玉川大学農学研究科	資源生物学専攻	1,380,235 円
東京農業大学農学研究科	バイオサイエンス学専攻	1,502,600 円
	食品栄養学専攻	1,480,600 円
	農学専攻	1,469,600 円
	農業経済学専攻	1,285,600 円
日本大学生物資源科学研究科	生物資源生産科学専攻	1,240,000 円
	生物資源利用科学専攻	1,240,000 円
	応用生命科学専攻	1,240,000 円
	生物資源経済学専攻	1,040,000 円
明治大学農学研究科	農学専攻	1,123,000 円
	農業経済学専攻	1,011,000 円
（本学農学研究科）	（生物生産学専攻）	1,002,470 円（予定）

注）2020 年度入学生の初年度納付額を各大学ウェブサイトから抜粋して記載

# 第1回 農学部セミナー

## 日本も世界も一緒に 元気になる“農”の取り組み

2019年

**5月21日** **火** 16:30-18:00

10号館（農学部棟） 2階 202講義室

### 「コロンビアにおける稲作スマート農業の実践と 今後の展望」

－日本の最先端農業IoT技術の実施試験を例に－

講演者： 小川諭志（CIAT, 国際熱帯農業センター）

### 「～農村から世界の未来を育てる～」

講演者： 矢島亮一（NPO法人自然塾寺子屋）

### 「世界とつながる日本」

－マレーシアサバ州におけるアグロフォレストリー  
の取り組み（JIRCAS国際プロ）－

講演者： 荒木陽一（高崎健康福祉大学）

お問い合わせ



農学部・作物園芸システムコース

清水 庸

shimizu-y@takasaki-u.ac.jp

# 第2回 農学部セミナー

in collaboration with 国際交流

# 異文化トーク

どなたでも参加可能です！

## 経験から学ぶ

# 「グローバル人材」

日時

2019年

6月3日 月 16:30-17:30 通訳有

10号館(農学部棟) 2階 205講義室

講演者

Dr. Parinaz Rahimzadeh (アメリカメイン大学)

「Life and Education Across the World :  
A Personal Journey through Academic Life」

海外での生活と教育:研究者としての体験から

Dr. Parinaz Rahimzadeh

テヘラン大学(学部・修士課程)卒業後来日。2011年 東京大学大学院 博士課程を修了し、博士研究員としてカナダ ゲルフ大学で研究活動を行う。現在はアメリカメイン大学 (School of Forest Resources) にて教育、研究に携わる。

4か国で学び、生活する中で経験した、“異なる文化を理解する大切さ”や“社会に適応する力”について実体験を交えてお話いただきます。

**グローバルリゼーションを肌で感じてきたParinazさんのおもしろ体験が聞けるかも！？**



お問い合わせ

農学部 作物園芸システムコース: 清水 [shimizu-y@takasaki-u.ac.jp](mailto:shimizu-y@takasaki-u.ac.jp)

国際交流センター: 中島・沼沢 [uhw-kokusai@takasaki-u.ac.jp](mailto:uhw-kokusai@takasaki-u.ac.jp)

学生確保(資料) - 26

# 乳の科学は奥が深い！



清水 誠 先生

東京大学名誉教授  
東京農業大学客員教授



日時：2019年11月1日（金）16：30-  
場所：高崎健康福祉大学 6号館 101教室

## 講演内容

**乳**は動物に摂取されることを目的に作り出された唯一の食物です。**人乳**(母乳)は赤ちゃんが健康に育つことを可能にするための様々な成分を含んでおり、そこには母親から子供への情動の伝達機能まで備わっています。

一方、**牛乳**は仔牛の健康と成長に適した成分を含みますが、栄養価が高く、安全性や加工性に優れた食材であるために、いつの間にか人類にとっての主要な食物となり、**食品学**～**栄養学**～**健康科学**の分野においても中核的な地位を占めています。乳の研究からは、現在の生命科学の基盤となるような発見もたくさん生まれました。乳に含まれる驚きの成分やその働き、それらが社会に及ぼしたインパクトなどについて考えてみましょう。



本セミナーは、本学健康栄養学科の地域貢献事業の一つですのでどなたでも参加していただけます。事前登録などは必要ありません。

高崎健康福祉大学・大学院  
栄養生理学研究室：下川 哲昭  
問い合わせ：shimokawa-n@takasaki-u.ac.jp

# 第4回 農学部セミナー

来たれ！  
公務員を目指す諸君

## 「群馬の農業を応援してみませんか」

- ・ 群馬の農業の特色と課題
- ・ 群馬県農政部の組織と仕事  
～研究、普及、行政での経験を踏まえて～
- ・ 採用試験について
- ・ インターンシップ制度、等

農業の勉強もできますよ！

群馬県農政部 部長 吉野 努氏

日時：令和元年11月12日（火）16:30～18:00

会場：10号館201教室

【お問い合わせ】

農学部作物園芸システムコース 荒木 araki-y@takasaki-u.ac.jp

キャリアサポートセンター 湯本 yumoto@takasaki-u.ac.jp

# 第5回 農学部 セミナー

農家のおじさんが育てた小麦で  
作ったパンを見たことありますか？  
～難しいからこそおもしろい。麦の地産地消に挑む！～

## 高橋 肇 先生

山口大学農学部教授

日時：令和2年1月24日（金）

13:00～14:30

場所：高崎健康福祉大学 10号館 203 教室



栽培・加工・食育など幅広い研究を実践されている  
麦研究の第一人者である高橋先生に、山口県がチーム  
一丸となって山口県内の学校給食で提供されるパンの  
原料小麦県産100%達成について、いろいろな視点から  
お話していただきます。

**多くの方のご来場、お待ちしております！**

【お問い合わせ】

農学部 作物園芸システムコース 作物学研究室

岡部 繭子：okabe-m@takasaki-u.ac.jp

学内の  
どなたでも  
参加できます



# 第1回 農学部セミナー

来たれ！

公務員を目指す諸君

## 「求む！ 群馬県農業の応援団員！」

～皆さんは、まだまだ、群馬県農業の魅力を知らない！～」

- ・ 群馬県農業の特色
- ・ 群馬県農政部の組織と仕事
- ・ 職員採用試験について 等

群馬県農政部 副部長 倉澤政則氏

日時：令和2年10月29日(木)16:30～18:00

会場：10号館201教室

### 【お問い合わせ】

農学部作物園芸システムコース 荒木 araki-y@takasaki-u.ac.jp  
キャリアサポートセンター 湯本 yumoto@takasaki-u.ac.jp

# 第2回 農学部セミナー

施設園芸におけるスマート農業  
技術を勉強してみませんか。



## 施設園芸におけるスマート農業技術

～令和元年度スマート農業実証プロジェクトの成果から～

株式会社誠和 取締役 大出浩睦氏

日時：令和2年12月17日(木)16:30～18:00

会場：10号館201教室

### 【お問い合わせ】

農学部作物園芸システムコース 荒木 araki-y@takasaki-u.ac.jp  
キャリアサポートセンター 湯本 yumoto@takasaki-u.ac.jp



令和元(2019)年度 高崎健康福祉大学公開講座(ぐんま県民カレッジ連携講座)

# 地域に根ざす 健大農学部



**日時**  
2020年 **2月8日** (土)  
13:00 ▶ 15:30 (開場 12:30)

**場所**  
高崎健康福祉大学10号館201講義室  
**定員**  
**200**名(お申込みは ハガキ・FAX・HP)

講座にご参加いただいた方には、講座終了後、そのまま農学部の見学をしていただければと思います。

## I部:シンポジウム

**講演 1** 群馬県特産物の  
新たな活用法  
高崎健康福祉大学 農学部 生物生産学科  
生命科学コース 教授 **外山 吉治**

**講演 2** 健大農学部を目指す新しい  
スマートグリーンハウス  
高崎健康福祉大学 農学部 生物生産学科  
作物園芸システムコース 准教授 **石神 靖弘**

**講演 3** 日本最古の加工食品、  
漬物の科学  
高崎健康福祉大学 農学部 生物生産学科  
フードサイエンスコース 教授 **松岡 寛樹**

**講演 4** 世界の日本食ブーム  
—海外進出と輸出—  
高崎健康福祉大学 農学部 生物生産学科  
アグリビジネスコース 准教授 **齋藤 文信**

## II部:パネルディスカッション

### 「地域に根ざす健大農学部」

**コーディネーター** 高崎健康福祉大学 農学部 学部長 **大政 謙次**

**パネリスト** 高崎健康福祉大学 農学部 生物生産学科  
生命科学コース 教授 **外山 吉治**  
作物園芸システムコース 准教授 **石神 靖弘**  
フードサイエンスコース 教授 **松岡 寛樹**  
アグリビジネスコース 准教授 **齋藤 文信**

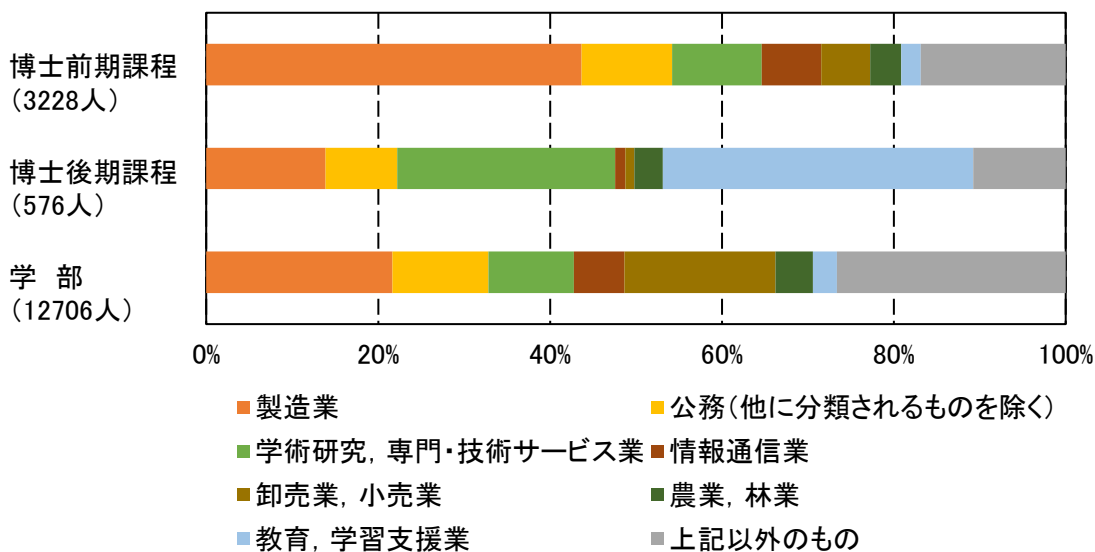
**参加費  
無料**



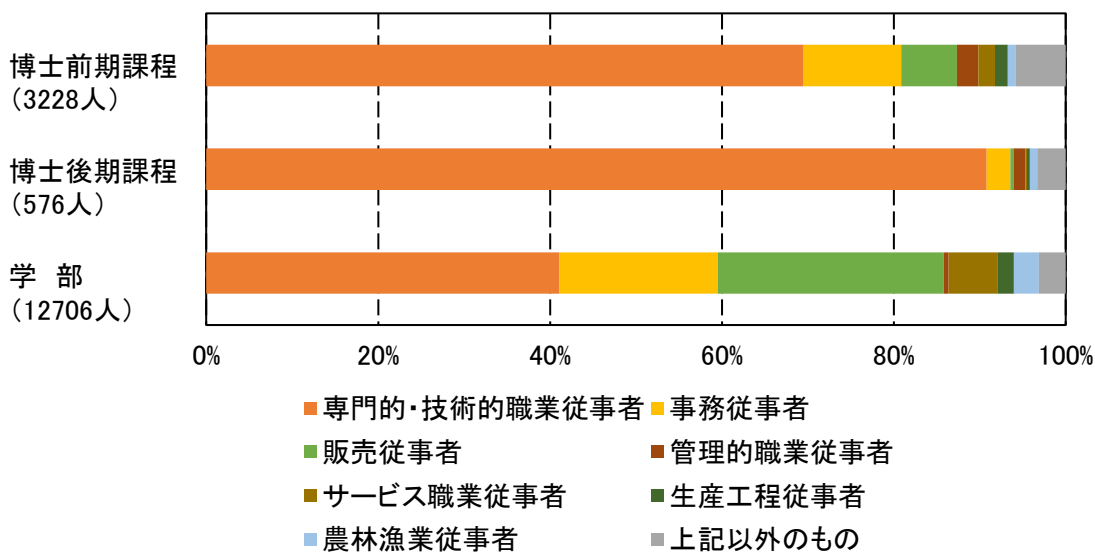
**高崎健康福祉大学**  
Takasaki University of Health and Welfare

〒370-0033 群馬県高崎市中大類町37-1 お問い合わせ/高崎健康福祉大学公開講座係 TEL.027-352-1290  
FAX.027-353-2055 URL▶<https://www.takasaki-u.ac.jp>

### 大学院修了者の産業別就業動向



### 大学院修了者の職業別就業動向



全国の農学系大学院生（平成31年3月修了）の産業別（上段）および職業別（下段）の就業動向

※令和元年度学校基本調査のデータから作図